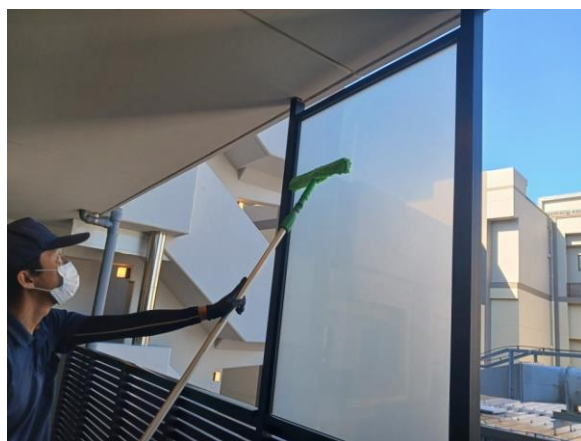


環境経営レポート

令和 6 年度版

～ エコアクション21 ～

対象期間：令和 5 年 10 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日



発行日：令和 6 年 10 月 1 日



クリーンで快適な環境を創る

白山ビルサービス株式会社

目 次

1. 環境経営方針	・ ・ ・ ・ P2
2. 事業の概要	・ ・ ・ ・ P4
3. 環境経営目標とその実績	・ ・ ・ ・ P5
4. 令和 5 年度環境活動内容とその実施状況と次年度取り組み	・ ・ ・ ・ P9
5. 令和 5 年度の目標達成率と評価	・ ・ ・ ・ P10
6. 環境関連法規への順守評価及び違反、訴訟等の有無	・ ・ ・ ・ P13
7. エコアクション 21 責任体制・実施体制・役割	・ ・ ・ ・ P14
8. 代表者による評価と見直し	・ ・ ・ ・ P15

1. 環境経営方針

【基本理念】

当社は、『クリーンで快適な環境を創ることで社会に貢献する』という経営理念に基づき、総合ビルメンテナンス事業を通じて環境の維持向上を推進し、顧客の環境保全の支援に努め、地球環境の保全および改善に積極的に取り組んでいきます。

【基本方針】

1. 環境関連法規、及びその他の要求事項を順守します。
2. 総合ビル管理活動による環境影響を的確に捉え、技術的、経済的に可能な範囲で継続的改善に努めます。
3. 事業活動によって排出される廃棄物の分別を行い、再生可能な資源についてはリサイクル化に努めます。
4. 省エネルギーおよび省資源化を図り、二酸化炭素排出の削減に取り組めます。
5. 水の使用量削減に取り組めます。
6. 従業員に環境教育を推進し、環境方針の周知・徹底を図り、社外からの求めに応じて公開します。

令和2年10月1日

白山ビルサービス株式会社

代表取締役 多賀直昭

【白山ビルサービスの環境経営方針とSDGsへの取組み】

白山ビルサービスは「クリーンで快適な環境を創ること社会に貢献する」という経営理念に基づき、SDGsの目標の実現に向かって積極的に取り組んでいきます。

★は重点項目、●は関連項目

SDGsの目標とターゲット			3 すべての人に健康と福祉を 	6 安全な水とトイレを世界中に 	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 	13 気候変動に具体的な対策を 	15 陸の豊かさも守ろう 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 
			3, 9	6, 4	7, 3	11, 6	12, 2 12, 5	13, 2 13, 3	15, 1	17, 17
番号	環境経営方針	取組内容	件の有数汚染を大に学幅による質削減減させび気・病土の壤	水の水不持利用に可効能率を改善し、淡水	増エネルギー効率の改善率を倍	審注大気を意軽減、質及び市の廃棄物の管理に	発3達天然資源の持続可能な利用を	力気計気候変動に善動的に策及び	利の陸生生態系及びその持続可能な	励会効・推の果的進トナシ、官民、市民社
1	法規制の遵守と地域社会との連携	法規制の遵守と地域社会との連携						●		★
3	廃棄物排出量の削減とリサイクル推進	分別ルール徹底、廃棄物抑制意識の高揚				●	★			
		リサイクルへの取組を推進					★		●	
4	二酸化炭素排出量の削減	節電、空調温度の適正管理、消灯の徹底			●	●		★		
		車両の適正運転、効率の運航、相乗り実施			●	●		★		
5	水使用量の削減	節水の啓蒙、流しっぱなし防止、節水シール表示		★						
*	化学物質の管理を進める	洗剤・ワックス購入量を把握、無駄のない使用	★	●						
		化学物質のSDS確認、廃棄方法を守る	★	●						●
6	環境教育の充実、省エネ提案	設備管理表の作成、スタッフのスキルアップ						★		●
		契約先での省エネ提案			★			●		●

2. 事業の概要

(1) 事業者名

白山ビルサービス株式会社

代表取締役 多賀直昭

(2) 所在地

〒920-0025 石川県金沢市駅西本町1丁目14番29号

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 営業主任 新出 直己

事務局 総務主任 山森 真貴子

連絡先 TEL:076-223-6556 FAX:076-223-6537

(4) 事業規模

設 立 昭和63年7月

資本金 2,500万円

従業員数 31名

事業年度 10月1日～翌年9月30日

(5) 事業内容

建築物における清掃及び設備の維持管理業務

(6) 対象範囲

1.認証・登録範囲 全組織 白山ビルサービス株式会社

全活動 ビル総合管理業務 ビル環境衛生管理業務

建築設備保全業務 保安警備・防災管理業務

建築・設備診断保全業務 建築設備設計監理業務

営繕工事一式請負 特定人材派遣業

日立バッテリー・ゴルフカート販売

2.環境経営レポートの 令和5年10月1日～令和6年9月30日(弊社会計年度)

対象期間及び発行日 令和6年10月1日

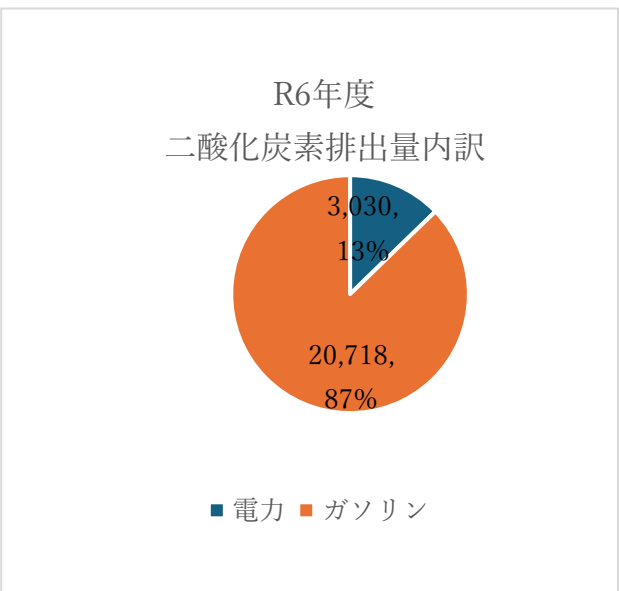
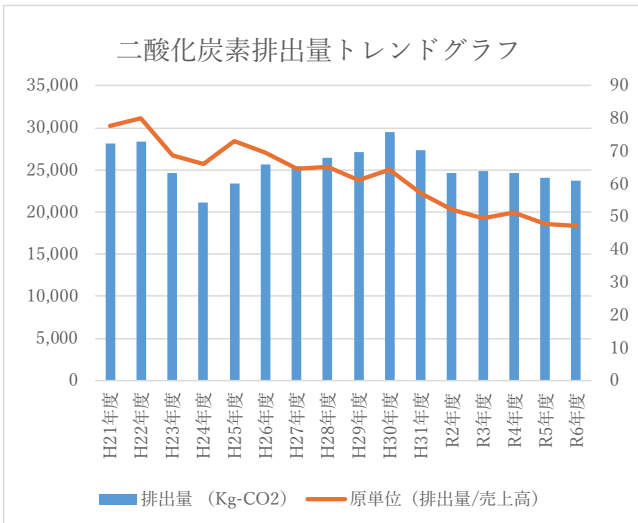
3. 環境経営目標とその実績

(1) 環境活動実績

当社の、過去 16 年間の環境活動実績は以下の通りである。

環境関連項目	単位	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	28,096	28,389	24,640	21,119	23,437	25,599	25,481	26,399
原単位 (CO ₂ 排出量／売上)	Kg-CO ₂ /百万円	78	80	69	66	73	70	65	65
廃棄物排出量	kg	271	345	454	256	259	194	239	429
一般廃棄物リサイクル率	%	55	51	47	52	48	48	49	32
コピー用紙購入量	Kg	197	154	169	181	158	139	141	169
水使用量	m ³	56	49	44	43.7	46	47	49	56
化学物質※	kg	-	382	438	685	382	312	368	367
省エネ提案件数	件	-	-	-	-	11	9	12	13
環境関連項目	単位	H 29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	27,096	29,549	27,391	24,651	24,913	24,590	24,080	23,747
原単位 (CO ₂ 排出量／売上)	Kg-CO ₂ /百万円	61	65	57	52	50	51	47.9	47.3
廃棄物排出量	kg	341	358	361	381	351	348	340	341
一般廃棄物リサイクル率	%	42	41	46	45	46	48	47	47
コピー用紙購入量	kg	219	201	188	229	210	207	159	167
水使用量	m ³	46	50	39	43	43	44	44	47
化学物質※	kg	592	740	654	662	770	521	498	498
省エネ提案件数	件	15	15	15	15	15	15	15	15

(事業年度例:R6 は令和 5 年 10 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日) ※化学物質・・・洗剤、ワックス、剥離剤
 ・購入電力の二酸化炭素排出係数 0.630kg-CO₂/kWh (H18～H31) 0.445Kg-CO₂/kWh (R2 以降)



過去 16 年間の環境活動実績を考察していくと以下の通りである。

① 二酸化炭素排出量

9 割弱は自動車のガソリンによるもので、残りは電気である。

排出量は減少傾向にある。

原単位目標(排出量/売上)でみた場合も削減傾向である。

② 廃棄物排出量

一般廃棄物がほとんどであり、量自体は多くはない。

年度毎に増減しており、増加傾向とも削減傾向ともいえない。

③ 一般廃棄物リサイクル率

リサイクルされるものの主は新聞である。

そのため、リサイクル率はその他の紙ゴミであるシュレッダーゴミの増減に左右される。

④ コピー用紙購入量

可能な限り、両面コピーや裏紙の利用、書類の電子化を推奨し削減を目指している。

報告書の提出方法によって年度毎に増減するが、近年電子化がすすんでいることにより

減少傾向にある。

⑤ 水使用量

テナントビル内に入居しており、ビル全体の使用量から概算値を算出している。

活動開始当初に比べれば 3 割程度の削減を達成できているが、近年は横ばいである。

⑥ 化学物質使用量

平成 22 年度より、化学物質使用量把握を開始し、その対象物質は主に清掃業務に使用する洗剤類である。P R T R 法に該当しない物が大部分ではあるが、洗剤、剥離剤、ワックスについて S D S を取り寄せ、第 1 種化学物質が含まれる洗剤・ワックスを把握し、安全を確認した上で使用量を集計し毎月管理表に入力している。

⑦ 契約先での提案件数

平成 25 年より、契約先において省エネに繋がるような、設備更新等の提案を行った際、リストに記載している。

(2) 中期環境目標

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、コピー用紙購入量

令和 2 年度の実績を基準にして、毎年1%削減する目標(表 3.3 を参照)を立てて活動している。

但し、二酸化炭素排出量に関しては、総量目標ではなく原単位目標としている。

一般廃棄物リサイクル率

令和 2 年度の実績を基準にして、毎年 1%増加する目標(表 3.3 を参照)を立てて活動している。

途中の変遷があっても、令和 2 年度を当面の目標に設定している。

表 3.3 令和 7 年度までの目標値

目標	単位	令和 2 年度実績	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	24,651	24,404	23,664	23,418
二酸化炭素排出量／売上 = 「原単位」	kg-CO ₂ /百万円	52	50	50	49
廃棄物排出量	kg	381	369	366	362
一般廃棄物リサイクル率	%	45.3	46.6	47.1	47.5
コピー用紙購入量	kg	229	222	220	218
水使用量管理・把握	m ³		使用量を把握		
化学物質管理強化(把握量)	kg		SDS により化学物質を特定し、数量集計		
契約先での省エネ提案	件	15	提案実施 15 件	提案実施 15 件	提案実施 15 件

(事業年度例:令和 5 年度は令和 4 年 10 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日)

その他目標とすること

- ・ 個人・顧客情報の記載された書類を廃棄する際は、手順書の元適切に処置すること。
- ・ 剥離作業による廃液処理の際は、手順書の元適正に処置すること。
- ・ 無駄な洗剤・ワックスの使用をしない為、技術の向上や日々のしっかりとしたメンテナンスの積み重ねを目指すこと。
- ・ コピー用紙等の消耗品をグリーン購入法対応商品にすること。
- ・ 実施に繋がるような契約先への省エネ提案を行うこと。

これは、自らが提供する製品及びサービスに関することであり、

「総合ビル管理活動による環境影響を的確に捉え、技術的、経済的に可能な範囲で継続的改善に努めます」という方針に基づくものである。

尚、その中においても「グリーン購入法に適合」という観点の元、提案を行うものとする。

4. 令和6年度環境活動内容とその実施状況と次年度の取組み

表4. 令和6年度 環境活動実施状況一覧

目 標	具 体 的 取 組 内 容	実施 状況	次年度の 取組み	担当 部署
二酸化炭素 排出量の削減 (電力使用量の 削減)	PC およびディスプレイの省電力徹底	○	継続	本社
	照明の管理	○		
	節電ステッカーの表示	○		
	空調設定温度管理(夏季 28℃冬季 20℃)	△		
	冷蔵庫内の整理と不要物の貯蔵禁止	○		全社
	未使用機器のコンセントを抜く	○		
	各種チェックシートの記入・記録	○		
二酸化炭素 排出量の削減 (ガソリン使用量 の削減)	アイドリングを減らしエンジン停止を徹底	○	継続	業務部
	急発進・急ブレーキ・空ぶかしの禁止	○		
	トランク・荷台・貨物室の整理と余計な荷物を放置しない	○		
	定期点検による燃費悪化の防止	○		
	省エネチェックリストによる管理徹底と意識高揚	○		
廃棄物量の 削減	分別ルールの徹底	○	継続	全社
	廃棄物抑制意識の高揚	○		
	リサイクルの取り組み	○		
水使用量の 削減	節水の啓蒙	○	継続	全社
	バケツやストッパーの利用による流しっ放しの防止	○		
	節水を呼びかけるシールの表示	○		
化学物質 管理強化	洗剤・ワックス等の購入量を把握する	○	継続	全社
	洗剤・ワックス等の無駄のない使用に努める	○		
	取り扱う化学物質のSDSを整備して有害性などを把握する	○		
	洗剤・ワックス等の廃棄方法を守る	○		
グリーン購入	グリーン購入に切替えられる資材等ないか見直しをする	△	継続	全社
	グリーン購入品の導入	△		
紙使用量削減	コピーは可能な範囲で両面コピーを実施する	○	継続	全社
	社内文書は裏紙を使用する	○		
契約先での 省エネ提案	設備管理表の作成・整備	○	継続	全社
	スタッフのスキルアップ	△		
	省エネ提案の実施	○		

○良い △普通 ×悪い

5. 令和6年度の目標達成率と評価

(1) 単年度目標・実績・評価

表.5 令和6年度の項目毎の目標・実績・評価

目標	単位	令和6年度		目標達成率	評価
		目標	実績		
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	23,664	23,747	-	-
二酸化炭素排出量／売上 =「原単位」	kg-CO ₂ /百万円	50	47	0.94	○
廃棄物排出量	kg	366	341	0.93	○
一般廃棄物リサイクル率	%	47.1	46.9	0.99	△
コピー用紙購入量	kg	220	218	0.99	○
水使用量	m ³	-	47	-	-
化学物質管理強化(把握量)	kg	-	498	-	○
契約先での省エネ提案	提案件数	15	15	1.00	○

目標達成率＝(実績値/目標値)で計算した。

評価基準：1.00未満:○、1.00以上1.10未満:△、1.1以上:×

ただし、リサイクル率と省エネ提案件数は以下の通りとする

⇒0.90:以下×、0.90を超える1.00未満:△、1.00以上:○

① 二酸化炭素排出量

総量で昨年比約2%減／原単位では目標50に対して47

- ・ ガソリンによる排出量:昨年比約2%減
- ・ 購入電力による排出量:昨年比約4%増

社用車の使用については、『省エネ運転チェックシート』を用い、毎月、走行メーター、給油量、タイヤの空気圧チェックとオイル交換時期の確認を行うようにしている。

※以下は『省エネ運転チェックシート』を集計し年度毎の社用車の燃費平均を算出したもの

環境関連 項目	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
社用車7台 燃費平均	km /L	12.7	15.35	14.84	15.7	15.33	15.33

今年度の売上は昨年と同様であるが、排出量は昨年比 2%減という結果である。

② 廃棄物排出量 目標値に対して 93%と昨年同様削減に努めることができた。

③ 一般廃棄物リサイクル率 目標値に対し 99%の達成率である。

一般廃棄物のリサイクル率の未達の原因としてシュレッダーゴミの比率の高さが考えられる。

シュレッダーゴミの大半は過去の経理総務関連書類である。書類は 10 年を目途に処分としている。

近年ゴミの量は電子化もあり減少傾向であるが、シュレッダーゴミは 10 年前のものであり、相対的に率が高い。書類の電子化、さらなる削減に努め長期的にリサイクル率をあげていくこととする。

④ コピー用紙購入量 目標値に対し削減することができた。

コピー用紙購入量と廃棄物の排出量は昨年に引き続き目標値に達することができた。コピー用紙購入量の減少傾向は昨年同様紙で報告書を提出する仕事が多かったこと、紙で提出していたものが電子に切り替わってきていることがあげられる。

水使用量

⑤ 化学物質使用量

記録・把握の実施ができている。

⑥ 契約先での提案件数

昨年に引き続き実施できたものが多かった。

空調や給水設備の更新を通して、お客様の施設の省エネに貢献できたと思われる。

⑦ その他目標

「フロン排出抑制法(平成 27 年 4 月施行)」に対しては、契約先の機器台帳を整備し、定期的に機器に異常がないか目視点検を行う等、対応している。設備更新等あれば台帳を変更する等しっかりメンテナンスも行っている。

今期も二酸化炭素排出量を削減することができた。電力量は昨年より 4%の増である。昨年同様に感染症対策として、事務所内を換気しながら空調を使用するため夏季は設定温度を低くし、また冬季は設定温度を高くし室内温度を保つようにしている。ただ暑い期間が長くなりエアコンを利用する期間が延びていることが要因として挙げられる。引き続き健康と環境に配慮した電気の使用を心が

けるようにする。一方ガソリンの使用量は、昨年と比較し 2%の減であり、燃費は横ばいで推移している。各自が継続的に環境意識をもって行動できている結果と考える。

今後も取組みの継続と、一層の努力でさらになる環境意識の向上に努めたい。

(2) 次年度の重点的な取組内容

- ・ 社用車の燃費について

『省エネ運転チェックシート』をしっかり運用、「オイル交換などのメンテナンスを適切に行う」「余計なものを積んでいないか確認する」という点を意識し、引続き社用車の燃費を良くしていきたいと思う。

- ・ 契約先への省エネ提案

引続き、採用頂けるような省エネ提案を積極的に行い、実施に繋げていきたい。

6.環境関連法規への順守評価及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規および苦情などはなかった。なお、関係当局より違反、訴訟などの指摘は過去にない。

環境関連法規に関しては、定期的に順守状況を点検している。

表 6. 1 関連法規への違反・訴訟・苦情状況

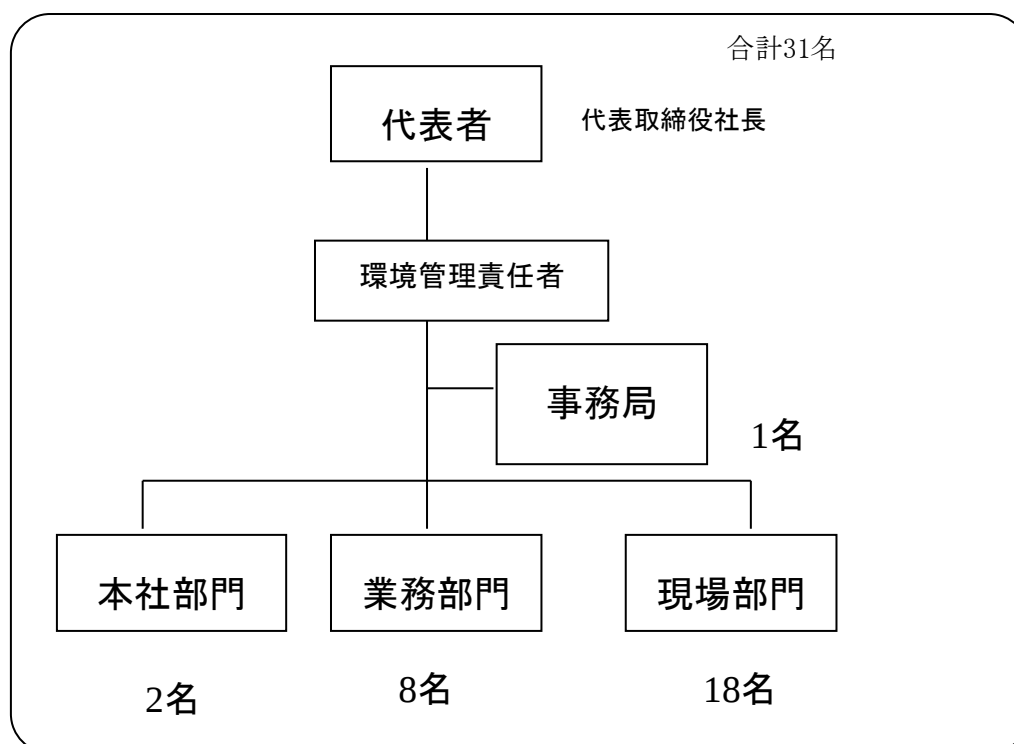
法令台帳（兼 法律順守チェックリスト）				社長		環境責任者	
							
NO	環境法規制	規制事項(要求事項)	必要資格	時期		確認責任部門	
				2月	9月		
環境に関する法律							
1	建築物における衛生的環境の確保に関する法律 (ビル管理法)	衛生管理業務の適正な履行 清掃管理業務	ビル管理技師 ビル管理技能士 貯水槽清掃作業監督者 ビルクリーニング技能士 清掃作業監督者	○	○	本社	
2	消防法	消防設備の適正な保守点検 消防設備の運転業務の適正な履行 危険物の適正な取り扱い業務の履行	消防設備士 消防設備点検資格者 危険物取扱者	○	○	本社	
3	労働安全衛生法	ボイラーの運転保守業務の適正な履行 圧力容器の運転保守業務の適正な履行	ボイラー技士 ボイラー整備士	○	○	本社	
4	電気設備技術基準	電気設備の運転保守業務の適正な履行 電気設備の適正な補修	電気主任技術者 電気工事士	○	○	本社	
5	高圧ガス取締法	冷凍機の運転保守業務の適正な履行	冷凍機械責任者	○	○	本社	
6	水道法	飲料水の適正な管理	貯水槽清掃作業監督者	○	○	本社	
7	フロン排出抑制法	フロンガスの排出抑制管理	冷媒フロン類取扱技術者	○	○	本社	
8	廃棄物処理法	廃棄物の適切な保管・運搬・処理	無し	○	○	本社	

表 6. 2 法規の順守評価

内 容	令和 6 年度
法律違反の有無	なし
訴訟の有無	なし
環境に関する苦情の有無	なし

7. エコアクション21 責任体制・実施体制・役割

令和6年10月1日現在



責任者の役割

代表者	環境方針の制定
	環境管理責任者の任命
	環境保全に関する経営資源の提供
	エコアクションシステムの見直しをする
環境管理責任者	エコアクション21活動責任者
	環境経営レポートの作成、公開
	環境の目標、計画の作成と進捗管理
	環境関連法規の順守評価
事務局	環境管理責任者の補佐
	進捗管理データの収集・整理

8.代表者による評価と見直し

8.1. 法令順守

法令は確実に順守している。引き続き、法令の変更等が無いかの情報収集を継続すると同時に、コンプライアンスに努めて欲しい。

8.2. 利害関係者からの苦情および是正処置

利害関係者からの苦情などは無く、特に是正の必要性は認めません。

8.3. 目標の達成評価

エコアクション活動実績（令和5年10月～令和6年9月）

表 8.1 令和5年度の実績

目標	単位	令和6年度		目標達成率 目標	令和6年度
		目標	実績		
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	23,664	23,747	-	-
二酸化炭素排出量／売上 ＝「原単位」	kg-CO ₂ ／百万円	50	47	0.94	○
廃棄物排出量	kg	366	341	0.93	○
一般廃棄物リサイクル率	%	47.1	46.9	0.99	△
コピー用紙購入量	kg	220	218	0.99	○
水使用量	m ³	-	47	-	-
化学物質管理強化(把握量)	kg	-	498	-	○
契約先での省エネ提案	提案件数	15	15	1.00	○

（年度例：令和6年度は令和5年10月1日～令和6年9月30日）

① 二酸化炭素排出量

目標は未達であるが、ガソリンでの排出量を減少することができている。今後も排出の内容を精査し、効率的な活動に努めてほしい。

② 廃棄物排出量・一般廃棄物リサイクル率・コピー用紙購入量

廃棄物排出量、コピー用紙購入量は、分別の徹底と適正な使用を今後も継続し、来期も目標達成してほしい。

③ 水使用量

水使用量はもともと使用量が少なく、ビル全体の入居率に影響されるものとする。

④ 化学物質管理強化

化学物質使用量について、使用量の記録・把握、ワックス・洗剤の品目の見直しを今後もしっかり取り組み継続してほしい。

⑤ 契約先での省エネ提案

実施に結びつく積極的な提案ができていると考えられる。今後は提案の質・量とも向上させ、なお一層お客様に評価して頂くよう努力してほしい。

8.4. 見直し

● 改善・強化が必要と思われる分野

廃棄物排出量

廃棄物量は目標を達成し、コピー用紙は削減することができた。来期も適正な使用と、分別徹底によりリサイクル率を向上させることに努めてほしい。

● よく出来ている分野

契約先への省エネ提案

今年度も、設備更新や大規模設備内の老朽化した部品の取替など、採用頂ける提案ができた。来年度も、省エネにつながる提案を考え、客先とこまめな打合せを行ってほしい。

8.5. 改善指示

◆ 環境保護活動の継続

現在の活動を確実に継続し、工夫と努力を重ねて、環境の保護につなげてください。

◆運営管理の徹底

活動内容がマンネリ化していないか、評価方法が適切なのか等、常に見直しも行ってください。

◆変更について

- ・環境経営方針 : 変更無
- ・環境経営目標 : 変更無
- ・環境活動計画 : 変更無
- ・環境経営システム: 変更無
- ・組織、体制 : 変更無

8.6. 前回の改善指示に対しての取組結果

前回指摘いただいた廃棄物の分類について、金沢市の条例を確認し区分の訂正しマニュフェストの管理を実施しています。

昨年に引き続き得意先に対して、実施に繋がる積極的な省エネ提案を行う等、全体として工夫と努力を重ねた取り組みができている。

全般に活動が確実に実行され、社員一丸となって取り組んでいる実感がある。コロナ禍の下、衛生管理や空調管理の重要性が見直されているので、当社の様々な活動とその成果を、お客様にも提案してほしい。

令和6年10月1日

代表取締役社長 多賀 直昭